

施策の評価シート(令和3年度分)

1 計画における位置付け						
政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり		
	計画	基本政策	15	地域に根付く商工業の振興	管理コード	061544
		施策	44	商業の振興	本冊ページ	98
	関連個別計画					
担当部局		商工観光部				
施策の内容(番号)		135		~	137	

2 「施策の内容」の総合評価と今後の方向性				
番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価		担当課
		選択区分	今後の方向性 選択区分	
135	名物・物産品等の認知度向上に向け、積極的な情報発信に努めるとともに、魅力ある商品の開発や地域ブランド創出のための取組を支援します。	A	①	商業振興党政課
136	商店街の後継者や新たに起業しようとする人材を育成・発掘し、個店の魅力アップや起業意欲の向上を促進するとともに、商店街等における空き店舗の解消を支援します。	D	①	商業振興党政課
137	中心市街地等の活性化に向け、商店街組織と連携した集客イベントなどを通じた賑わいの創出に取り組みながら、魅力ある店舗の情報発信などにより地元での消費行動を促進し、まちの活気の創出につながる取組を支援します。	D	①	商業振興党政課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
 ※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3 「施策」の総合評価			
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	区分	選択区分	総評(施策の進捗状況や効果等を端的に記載)
		A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	C

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	C	E	C					

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート(令和4年度分)

1 計画における位置付け					
政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり	
		基本政策	15	地域に根付く商工業の振興	管理コード 061544135
		施策	44	商業の振興	本冊ページ 98
	関連個別計画				
担当部局		商工観光部			
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果		135	名物・物産品等の認知度向上に向け、積極的な情報発信に努めるとともに、魅力ある商品の開発や地域ブランド創出のための取組を支援します。		

2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	実施評価 事業評価	
担当課		何	何のための事業か	決算額 (千円)	今後の方向性		
135-1	地場産業振興事業	市物産振興会が行う物産振興イベントをはじめとする各種物産振興活動等に対する補助	効	津市物産の振興を図る	◆ 津市物産振興会への補助(予算の範囲内)	△	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、令和4年秋に予定していた津市物産まつりが開催できなかったことにより、当初の事業実施計画が未達となったが、パンフレット等により津市物産の振興を図ることができた。
	誰		本市物産に係る事業者	◇ 津市物産まつりの開催結果、ホームページやパンフレットによるPR	○		
商業振興労政課		何	本市物産の認知拡大、販売促進に資する	200 (千円)	現状維持		
135-2	スイーツフェスタ事業	スイーツに特化した味覚の掘り起こしと情報発信等による商業及び地域活性を目的としたスイーツフェスタ事業に対する補助	効	スイーツに特化した津市物産の振興を図る	◆ 津市物産振興会への補助(予算の範囲内)	◎	スイーツフェスタの開催支援を行うことで、スイーツに特化した津市物産の振興を図ることができた。
	誰		市内物産(スイーツ)に係る事業者	◇ スイーツフェスタの開催結果	◎		
商業振興労政課		何	本市のスイーツに係る認知拡大、販売促進に資する	1,200 (千円)	現状維持		
135-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
135-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		
135-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		(千円)		

施策の内容評価シート(令和4年度分)

135-6	効	◆	(千円)
	誰	◇	
	何		
135-7	効	◆	(千円)
	誰	◇	
	何		
135-8	効	◆	(千円)
	誰	◇	
	何		
135-9	効	◆	(千円)
	誰	◇	
	何		
135-10	効	◆	(千円)
	誰	◇	
	何		

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)

※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	A
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	①
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	C	A					
今後の方向性	①	①	①	①	①					

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート(令和4年度分)

1 計画における位置付け					
政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり	
		基本政策	15	地域に根付く商工業の振興	
		施策	44	商業の振興	
	管理コード	061544136		本冊ページ	98
関連個別計画					
担当部局		商工観光部			
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果		136	商店街の後継者や新たに起業しようとする人材を育成・発掘し、個店の魅力アップや起業意欲の向上を促進するとともに、商店街等における空き店舗の解消を支援します。		

2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	△ 実施評価	
担当課			何	何のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	○ 事業評価	
136-1	商店街魅力発信事業	様々な手法を用いて商店街へ誘客を図る取組、学生が商店街と連携しながら活動することで中心市街地の賑わい創出に繋げる取組及び学生目線での中心市街地の情報発信	効	中心市街地の賑わい創出を図る	◆ TMOへの委託事業により、学生との連携の手法による、中心市街地の賑わい創出を図る	△	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、規模を縮小した上で、学生との連携による商店街の魅力を発信するリーフレットを作成し、情報発信することができた。
	商業振興労政課		誰	商店街振興組合等の事業者	◇ イベント等の実施結果	○	
			何	TMOや学生との連携により中心市街地の賑わいづくりによる商業活性化に資する	660 (千円)	現状維持	
136-2	高虎楽座事業	藤堂高虎公の名を冠した中心市街地におけるステージイベントやフリーマーケットの開催に対する補助	効	藤堂高虎公の功績を再認識し、津市の伝統文化の継承及び商業振興や中心市街地の活性化を図る	◆ 年2回(4月、11月)高虎楽座を開催	×	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、4月及び11月に開催予定であった高虎楽座が、不特定多数を中心市街地に誘客することにより感染拡大が懸念されることから開催できなかったため、当初の事業実施計画が未達となった。
	商業振興労政課		誰	商店街振興組合等の事業者	◇ 高虎楽座の開催結果	×	
			何	中心市街地の賑わいづくりによる商業活性化に資する	0 (千円)	現状維持	
136-3	商業振興事業	商店街等が行う集客イベントなど商業活性化事業や商店街の空き店舗を解消するための事業等に対する補助	効	商店街の活性化を促進する	◆ 商店街等が行う活動やイベントや、商店街等の空き店舗への新規出店への補助	△	前年度に比べ各商店街等が誘客拡大や賑わい創出のための取組が戻ってきたものの、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置により取組が差し控えられたことにより、想定していた支援を行うことができなかったため、当初の事業実施計画が未達となった。
	商業振興労政課		誰	商店街振興組合等の事業者	◇ イベント開催結果及び新規出店店舗数	○	
			何	誘客拡大や賑わい創出に向け行う事業に支援することで、中心市街地と商業活性化に資する	3,575 (千円)	現状維持	
136-4	商店街にぎわい創出事業	中心市街地の活性化を目的とした市民主導の取組を支援 実際にまちづくりを行う「プレーヤー」を育てる研修 中心市街地の賑わいを創出するとともに、市民等がまちとその歴史に興味や愛着を持ち、中心市街地へ来街するきっかけをつくるイベントを開催	効	市民・学生など様々な人が参画し賑わいの創出と商業の振興を図る。中心市街地の賑わいの担い手育成。 市民等がまちとその歴史に興味や愛着を持ち、中心市街地へ来街するきっかけをつくる。	◆ 委託事業により、市民主導の取組を支援。中心市街地の賑わいの担い手を育てる研修等を実施。中心市街地でウォークイベントを開催	×	ウォークイベントの開催により、中心市街地への誘客を図ることができたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、中心市街地活性化の担い手育成のための取組や様々な人々が集まり、商店街活性化に向け議論を行う「サロン」を行うことができなかったため、当初の事業実施計画が未達となった。
	商業振興労政課		誰	市民・学生・商店街	◇ 市民主導の取組結果 担い手を育てる研修等の実施結果 ウォークイベントの開催結果	×	
			何	商店街活性化に参画するきっかけを作ることで、商店街の担い手育成と中心市街地活性化を図る	162 (千円)	現状維持	

施策の内容評価シート(令和4年度分)

136-5	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
136-6	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
136-7	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
136-8	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
136-9	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)
 ※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない
 ※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	D
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	①
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
 ※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	C	E	D					
今後の方向性	①	①	②	②	①					

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート(令和4年度分)

1 計画における位置付け						
政策体系	総合計画	目標	06	魅力と活力を生み出すまちづくり		
		基本政策	15	地域に根付く商工業の振興		管理コード 061544137
		施策	44	商業の振興		本冊ページ 98
	関連個別計画					
担当部局		商工観光部				
施策の内容 (第2次基本計画) ※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果		137	中心市街地等の活性化に向け、商店街組織と連携した集客イベントなどを通じた賑わいの創出に取り組みながら、魅力ある店舗の情報発信などにより地元での消費行動を促進し、まちの活気の創出につながる取組を支援します。			

2 「施策の内容」に係る主な事業の評価(事務事業評価)

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから (実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由)	
			効	誰	◆ 当初の事業実施計画	△ 実施評価		
担当課			何	何	◇ 事業評価の主な視点	○ 事業評価		
137-1	商店街魅力発信事業	様々な手法を用いて商店街へ誘客を図る取組、学生が商店街と連携しながら活動することで中心市街地の賑わい創出に繋げる取組及び学生目線での中心市街地の情報発信	効	中心市街地の賑わい創出を図る	◆	TMOへの委託事業により、学生との連携の手法による、中心市街地の賑わい創出を図る	△	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、規模を縮小した上で、学生との連携による商店街の魅力を発信するリーフレットを作成し、情報発信することができた。
	誰		商店街振興組合等の事業者	◇	イベント等の実施結果	○		
商業振興労政課			何	TMOや学生との連携により中心市街地の賑わいづくりによる商業活性化に資する	660 (千円)	現状維持		
137-2	高虎楽座事業	藤堂高虎公の名を冠した中心市街地におけるステージイベントやフリーマーケットの開催に対する補助	効	藤堂高虎公の功績を再認識し、津市の伝統文化の継承及び商業振興や中心市街地の活性化を図る	◆	年2回(4月、11月)高虎楽座を開催	×	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、4月及び11月に開催予定であった高虎楽座が、不特定多数を中心市街地に誘客することにより感染拡大が懸念されることから開催できなかったため、当初の事業実施計画が未達となった。
	誰		商店街振興組合等の事業者	◇	高虎楽座の開催結果	×		
商業振興労政課			何	中心市街地の賑わいづくりによる商業活性化に資する	0 (千円)	現状維持		
137-3	商業振興事業	商店街等が行う集客イベントなど商業活性化事業や商店街の空き店舗を解消するための事業等に対する補助	効	商店街の活性化を促進する	◆	商店街等が行う活動やイベントや、商店街等の空き店舗への新規出店への補助	△	前年度に比べ各商店街等が誘客拡大や賑わい創出のための取組が戻ってきたものの、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置により取組が差し控えられたことにより、想定していた支援を行うことができなかったため、当初の事業実施計画が未達となった。
	誰		商店街振興組合等の事業者	◇	イベント開催結果及び新規出店店舗数	○		
商業振興労政課			何	誘客拡大や賑わい創出に向け行う事業に支援することで、中心市街地と商業活性化に資する	3,575 (千円)	現状維持		
137-4	商店街にぎわい創出事業	中心市街地の活性化を目的とした市民主導の取組を支援。実際にまちづくりを行う「プレーヤー」を育てる研修。中心市街地の賑わいを創出するとともに、市民等がまちとその歴史に興味や愛着を持ち、中心市街地へ来街するきっかけをつくるイベントを開催	効	市民・学生など様々な人が参画し賑わいの創出と商業の振興を図る。中心市街地の賑わいの担い手育成 市民等がまちとその歴史に興味や愛着を持ち、中心市街地へ来街するきっかけをつくる。	◆	委託事業により、市民主導の取組を支援。中心市街地の賑わいの担い手を育てる研修等を実施。中心市街地でウォークイベントを開催	×	ウォークイベントの開催により、中心市街地への誘客を図ることができたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止措置のため、中心市街地活性化の担い手育成のための取組や様々な人々が集まり、商店街活性化に向け議論を行う「サロン」を行うことができなかったため、当初の事業実施計画が未達となった。
	誰		市民・学生・商店街	◇	市民主導の取組結果 担い手を育てる研修等の実施結果 ウォークイベントの開催結果	×		
商業振興労政課			何	商店街活性化に参画するきっかけを作ることで、商店街の担い手育成と中心市街地活性化を図る	162 (千円)	現状維持		

施策の内容評価シート(令和4年度分)

137-5	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
137-6	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
137-7	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
137-8	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	
137-9	効	◆	
	誰	◇	
	何	(千円)	

※実施評価(計画どおり実施したか)…◎=計画を達成(100%以上) ○=概ね計画どおり(80%以上~100%未満) △=計画を下回った(50%以上~80%未満) ×=計画を大きく下回った(50%未満)

※事業評価(効果があったか)…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない

※今後の方向性…(さらなる)拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価		
	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上	D
	B 60点以上80点未満	
	C 40点以上60点未満	
	D 20点以上40点未満	
	E 20点未満	

4 今後の方向性		
	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持	①
	② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある	
	③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい	
	④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	

※総合評価は、主な事業の実施状況(実施評価)、事業対象者への効果(事業評価)の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況										
年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	C	E	D					
今後の方向性	①	①	②	②	①					

※計画期間である平成30年度(2018年度)から令和9年度(2027年度)の本施策の内容に関する推移を示します。

